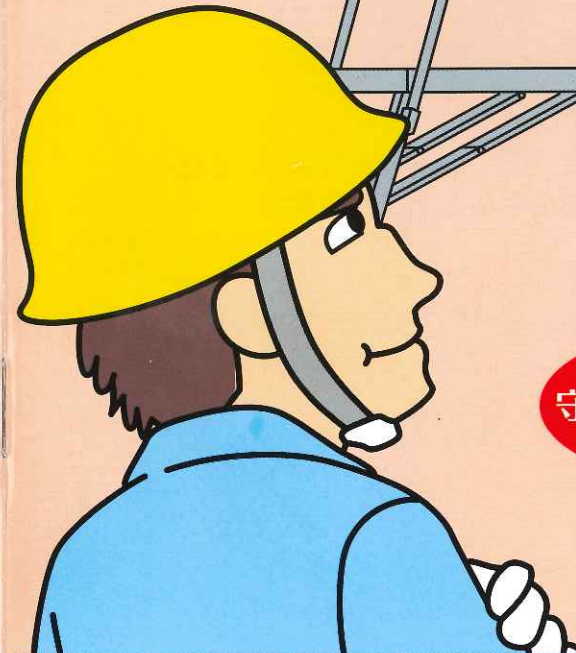


可搬式作業台からの 転落災害を なくすには!!



守るべき基本を学ぶ



一般社団法人 軽仮設リース業協会

Scaffolding and Construction
Materials Leasing Association

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-2
サンブリヂ小川町ビル4F
TEL 03-3293-3148
FAX 03-3293-3207

2017-4-5,000



一般社団法人 軽仮設リース業協会
技術安全部会 専門委員会 脚立等グループ

目 次

- 1. 可搬式作業台使用時の事故分析 2
- 2. 可搬式作業台にかかわる
発生状況と対策..... 4
- 3. 可搬式作業台の
設置場所に関する注意事項 19
- 4. 可搬式作業台の各部名称と
使用前安全点検..... 20

1. 可搬式作業台使用時の事故分析

**作業範囲に優れている可搬式作業台は
幅広く現場で利用されていますが安全意識が大切です**

2016年3月に「脚立からの転落災害をなくすには!! 守るべき基本を学ぶ」を発刊して以来、丁度1年を経過しますが、この間、各方面から安全作業講習会等の教材として使っていただくなど、好評をいただきました。

この度は、その続編として「可搬式作業台からの転落災害をなくすには」の制作を行い、本日、皆様のお手許にお届けする次第です。

近年この可搬式作業台からの転落や、可搬式作業台そのものが転倒するなどの死亡事故が発生していることも事実です。

事故の原因を分析すれば、そこには「誤った使用方法」によるもの起因していることに帰結します。

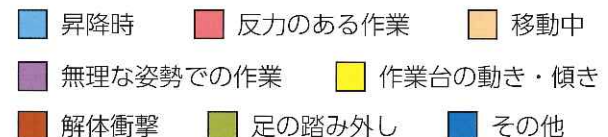
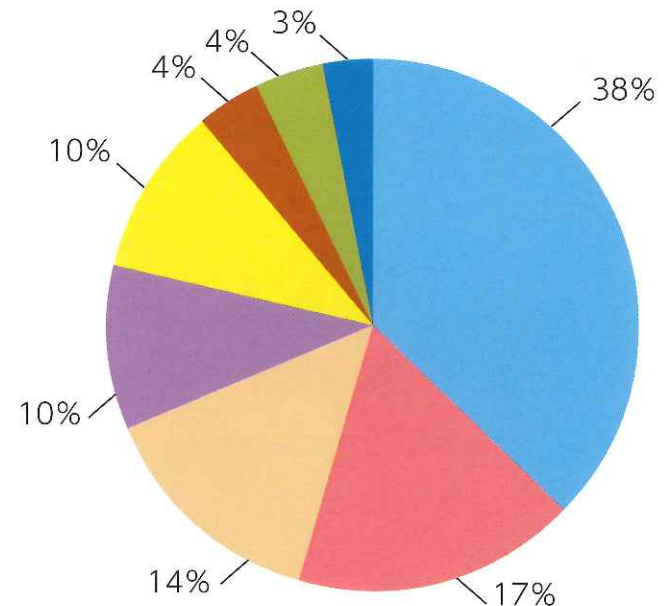
私たち、一般社団法人 軽仮設リース業協会会員各社は、可搬式作業台の製造およびレンタル業者として、事故防止のために少しでもお役に立てることができないかとの思いから、本冊子を作成いたしました。

可搬式作業台の正しい使用方法をご理解いただき、事故のない安全な作業を願っております。

前回の「脚立からの転落災害をなくすには!! 守るべき基本を学ぶ」と同様に、本冊子が労働災害防止の一助となれば幸いです。

なお、本冊子には「梯子」についても一部掲載しておりますが、本来「梯子」は、作業用足場としては認められておりませんので、梯子での作業事故例は割愛し、正しい使用方法のみ掲載いたしました。

可搬式作業台災害発生原因



2. 可搬式作業台にかかわる事故の発生状況と対策

No.
1

作業台に背を向けて降りていて転落

(発生状況)

片手に工具を持ち作業台に背を向けて降りていたとき足を滑らせて転落。



(守るべきこと)

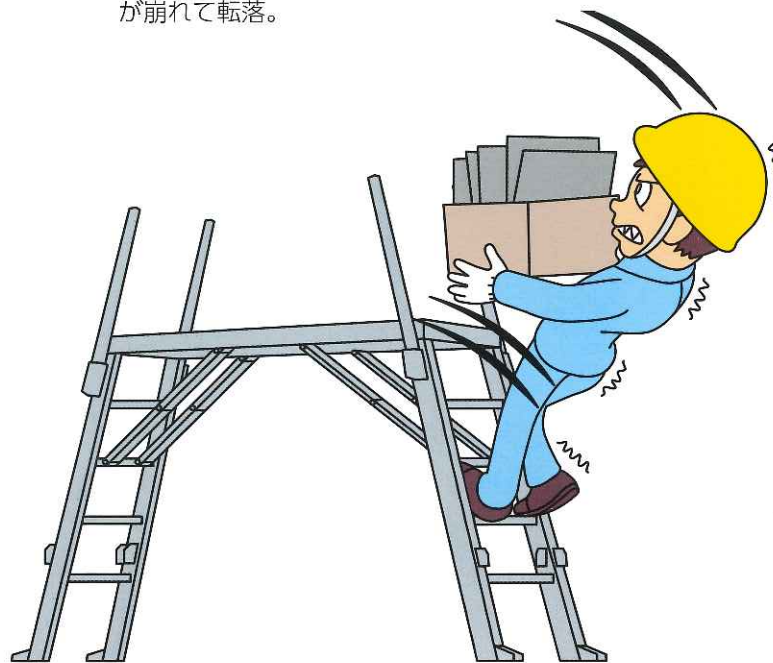
- ①手に物を持って昇降しないこと。
- ②作業台に背を向けて昇降しないこと。

No.
2

物を持つての昇降時に転落

(発生状況)

箱を抱えて作業台に昇ろうとしたときに、身体のバランスが崩れて転落。



(守るべきこと)

- ①手に物を持って昇降しないこと。
- 本体か手がかり棒を掴んで昇降すること。

No.
3

天板上の立ち方が悪く転落

(発生状況)

つま先立って天井の補修を行っていたが、バランスを崩し転落。



(守るべきこと)

- ①無理な姿勢での作業は行わないこと。
- ②適正な高さの作業台を使うこと。

No.
4

作業台から身体を乗り出して転落

(発生状況)

壁の塗装を行っていた際、壁まで離れていたため、身を乗り出して作業中に転落。



(守るべきこと)

- ①作業台から身を乗り出しての作業は行わないこと。
- ②作業台設置する場所に荷物等を置かないこと。

No.
5

無理な姿勢からの転落

(発生状況)

可搬式作業台の上で、中腰の状態で電線管に墨付けを行った後、しゃがんで身体をひねるようにして、側に控えていた作業員に手渡そうとしてバランスを崩して転落。



(守るべきこと)

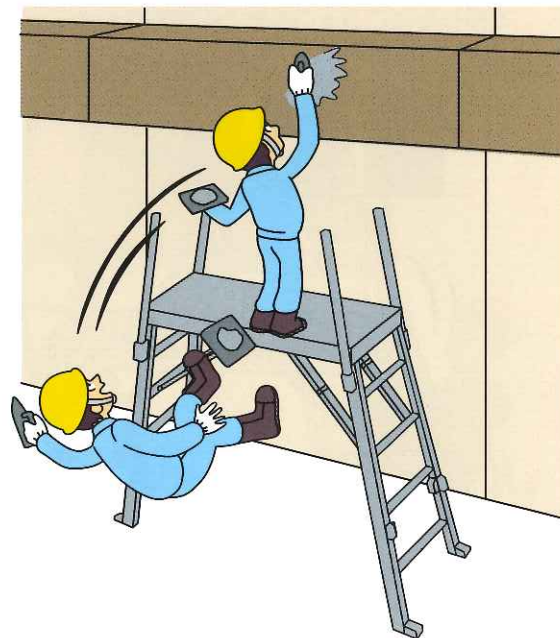
- ①手渡し際は、正対して手渡しを行うこと。
- ②無理な姿勢での作業は行わないこと。

No.
6

不適切な設置場のために起きた転落

(発生状況)

壁の塗装作業中、壁から張り出した梁部分の作業を行っていた際、バランスを崩して作業台とともに仰向けに転落。



(守るべきこと)

- ①適切な位置に作業台を設置すること。
- ②無理な姿勢での作業は行わないこと。

No.
7

反力のある作業中の転落

(発生状況)

塗料缶を棚の上に収めるため、可搬式作業台に載って作業していたが、塗料の一部がはみ出していたため、力を入れて押したところその反動で可搬式作業台ごと転倒。



(守るべきこと)

①作業台の上で、壁や物を無理に押したり引いたりしないこと。

No.
8

作業台の移動中での転倒

(発生状況)

作業が終わったので、工具類を載せたまま、可搬式作業台を荷物置き場へ後ろ向きに移動させようとして、床に転がっていた角材につまずき、転倒。



(守るべきこと)

①天板の上に物や人を乗せたまま移動しないこと。

No.
9

段差のある場所に作業台を設置しての転落

(発生状況)

可搬式作業台を設置するとき、床段差を調整するため、片方の脚部を約15cmの高さの台にのせて設置した。その後、可搬式作業台天板に載ろうとした際、バランスが崩れ作業台から転落。



(守るべきこと)

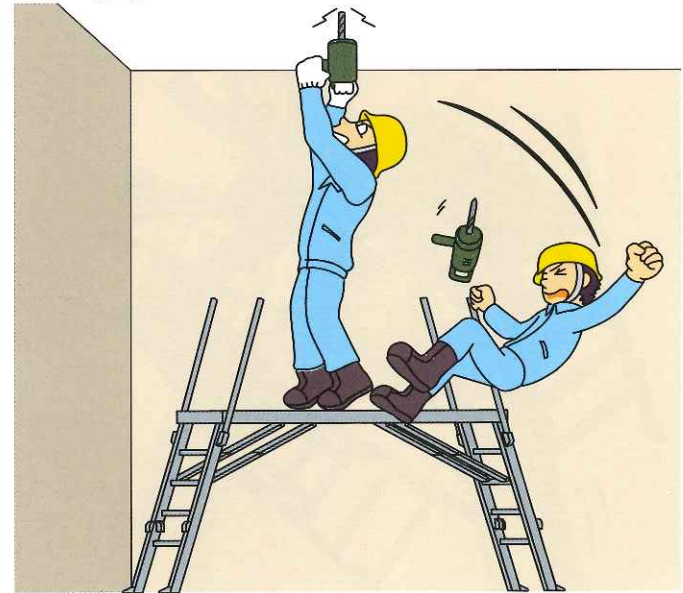
- ①高くするために、台や箱の上に作業台を乗せたりしないこと。

No.
10

足の踏み外しによる転落

(発生状況)

室内で、作業台に乗って天井にアンカーを打つ作業中、天井が高く、それに集中したため、足下の天板の端から転落した。



(守るべきこと)

- ①天板に乗って作業する際は、常に足下に注意すること。
- ②適正な高さの作業台を使用すること。

No.
11

別の作業台に乗り移ろうとして転落

(発生状況)

可搬式作業台に乗って天井設備配管の手直しをしていて、別の作業台に乗り移ろうとして作業台が転倒し転落。



(守るべきこと)

①乗り移らないこと。作業台から一旦降りて、他の作業台に移ること。

No.
12

作業台に2人が乗って転落

(発生状況)

作業台の上に、同時に2人が乗って塗装作業を行っていたところ、作業していた作業員が、もう一方の作業員と交錯し、その弾みでバランスを崩し転落。



(守るべきこと)

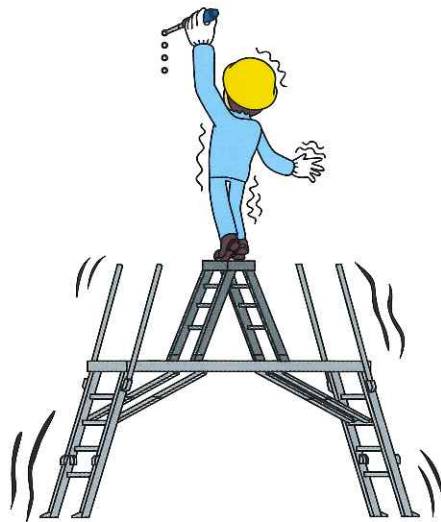
①作業台には同時に2人以上乗らないこと。

No.
13

天板の上に台等を載せた台の上から転落

(発生状況)

作業台の高さが足りないため、作業台の上に踏み台を置き、これに乗って作業していたところ、踏み台が揺れたため、バランスを崩して転落。



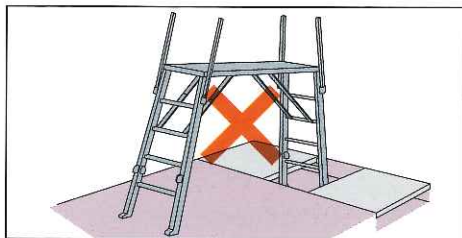
(守るべきこと)

- ①天板の上に踏台や箱などを乗せ、これに乗って作業しないこと。
- ②適切な高さの作業台を設置すること。

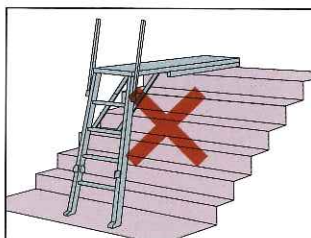
可搬式作業台を安全に使用して頂くための 注意事項(総括)

- 手に荷物を持ったまま昇降しないこと。昇降する際は、本体や手がかかり棒をしっかりと掴んで昇降して下さい。
- 高さに見合った作業台を設置し、背伸びしたり、つま先だって作業を行わないで下さい。
- 身を乗り出して作業を行わないで下さい。駆体に近いところに設置し、しっかりと天板上で作業を行って下さい。
- 作業台の上に、物を置いておくと、つまづく恐れがあります。不要な物は天板から降ろして作業して下さい。足下にも十分注意して下さい。
- 作業台の上で、無理に壁や物を押したり引いたりしないで下さい。反動によって転落する恐れがあります。
- 天板に物を乗せたまま、作業台を移動させないで下さい。作業台を移動させる時は、物を降ろしてから行って下さい。
- 天板の上に台や箱を置いてその上で作業することはしないで下さい。
- 作業台から、別の作業台に乗り移ることはしないで下さい。一旦、降りてから移動して下さい。
- 作業台には2人以上同時に乗らないで下さい。

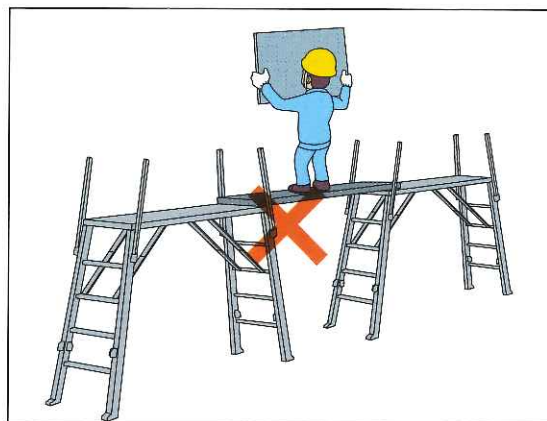
それ以外に、こんな使用も危険です。



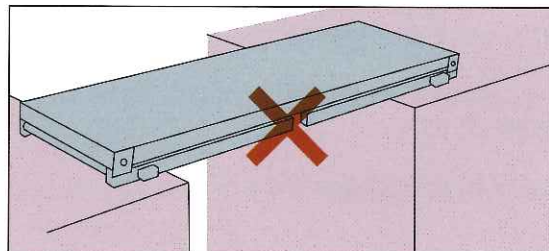
伸縮脚を穴、溝、開口部に落としての使用。



階段での使用。



二つの作業台を足場板で渡して使用。

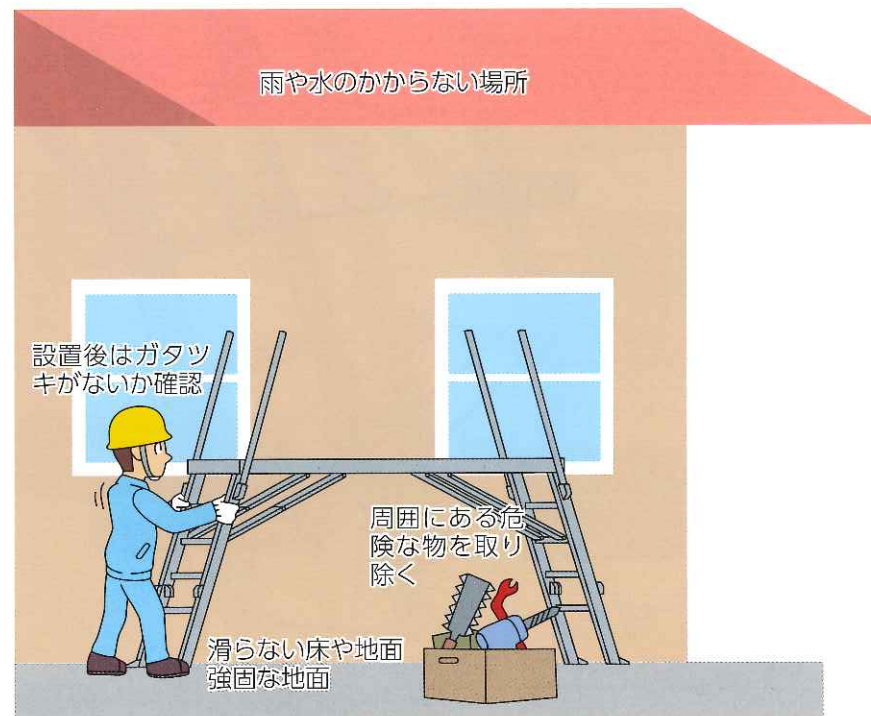


足場板代わりとしての使用。

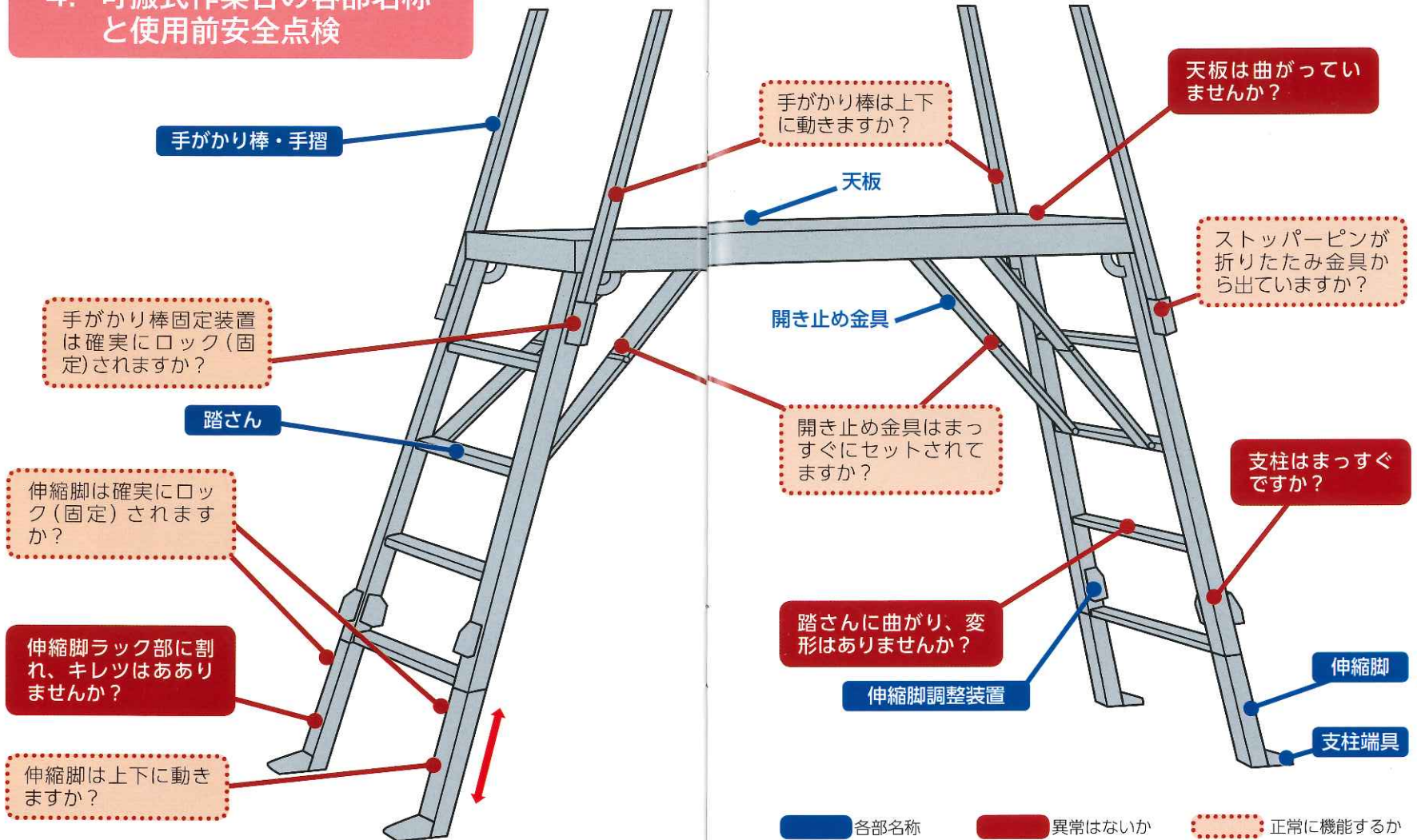
3. 可搬式作業台の設置場所に関する注意事項

1. 設置場所について

- 出入り口や扉の前
- 足元や周囲の暗い場所
- 雨や風の強い場所
- 作業台の水平が取れない所
- 感電するので電気コードにも注意
- 傾斜地や開口部付近



4. 可搬式作業台の各部名称 と使用前安全点検



各部名称

異常はないか

正常に機能するか

●可搬式作業台の日常点検表の例

点検箇所	点検事項 良○ 否× 是正済△
全 体	☐ 組み上げた状態で、変形・歪み グラつきがないこと ☐ 各部に錆、腐食、溶接部に亀裂、 剥がれがないこと ☐ つまずいたり滑りやすい異物が 付着していないこと
天板（作業床）	☐ 曲がり、へこみ、ネジレ、割れ (亀裂)がないこと
開き止め金具	☐ 曲がりや破損がなく、確実に ロックされていること
折りたたみ金具	☐ 破損・変形がなく、ストッパーが 確実にロックされていること

点検箇所	点検事項 良○ 否× 是正済△
踏 さ ん	☐ 変形・打痕・亀裂がないこと
伸縮脚調整装置	☐ 変形、破損がなく、確実にロック されていること
伸 縮 脚	☐ 曲がりや破損がなく、スムーズに 作動すること
支 柱 端 具	☐ 破損、変形がなく、溝があること
手がかり棒・手摺	☐ 曲がりや破損がなく、確実に ロックされガタつきがないこと

参考資料(梯子の正しい使い方)

